



授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

実態:小学校 低学年

- ・立位や座位が保てず、机にもたれかかったりゴソゴソと動いたりする。
- ・ぶつかったり転んだりすることがよくある。
- ・追視や運筆など、運動全般に不器用さがある。

長期目標

- ・自分の体の部位に気付き、良い姿勢を保つことができる。
- ・指示されたとおりに動くことができる。

通級での指導・支援

通常の学級での指導・支援


動く ↔ 止まる 速く ↔ ゆっくり

手 全身 左右同じ → 左右違う


足

見る 考える → 動く


聞く




ケンケンパ
リズム良く、止まらずに跳んでみよう。「パ」のところでピタッと止まってみよう。




リラックス(漸進性筋弛緩法)
仰向けで全身に力を入れた後、一気に力を抜いてみよう。そのまま体を動かさずにじっと寝られるかな？




まねっこポーズ
手だけ、足だけ、手足同時に。左右ばらばらのポーズもまねてみよう。




一本橋
落ちないように、一步一步ていねいに歩こう。




くま歩き
左右ばらばらでも上手に動かして、手足で4足歩行してみよう。一本橋から落ちないようにくま歩きができるかな？



色板ジャンプ
先生が言う色を聞いて、すぐにジャンプ移動しよう。何色か聞いて覚え、順番通りに思い出してジャンプで移動できるかな？



色板渡り
くま歩きで、赤の色板だけを通って渡りきろう。



ぬいぐるみキャッチ
ぶら下げたぬいぐるみを揺らすから、自分の前にきたら両手でキャッチしよう。

・通級での取り組みを参考に、体育の時間に感覚統合の視点を取り入れたサーキット運動を行い、体幹を鍛える。

通級での変容

- * 「動く」と「止まる」のメリハリが付けられるようになった。
- * リズム感が良くなった。
- * 手足がばらばらの複雑な動きができるようになってきた。
- * 見たり聞いたりしてから行動に移るまでの時間が短くなった。

通常の学級での変容

- * 授業の始めと終わりの挨拶で起立したときに、まっすぐ立てるようになった。
- * 友だちとぶつかることが少なくなった。
- * 机の上の物を落とすことが少なくなった。



感覚

2-3-2

うまく手先を使えるようになったよ

授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導

実態:小学校 低学年

- ・文字をマス目に収めることが難しい。
- ・ひも結びなどの作業が難しく、自分ではできない。

長期目標

- ・指先での細かな操作ができる。
- ・マス目に収まる大きさの文字を書くことができる。

通級での指導・支援

指先での細かな操作ができるように

- 指先を動かす速さを調節する。
 - ・[スティッキー]
 - ・[パリナ]

棒を そっとぬいてね。



スティッキー



パリナ

- 道具を使って細かい作業をする。
 - ・ペーパークラフト
 - ・[クラッシュアイスゲーム]
 - ・[アイスクリームタワープラス]

ペンギンを落とさないように
流水を落とそう。



クラッシュアイスゲーム



アイスクリーム
タワープラス

マス目に収まる大きさの文字が書けるように

- 運筆練習をする。
 - ・点つなぎ
 - ・迷路
 - ・『漢字の基礎を育てるワークシート』
 - ・『けっしょほかん』

手本をよく見て、同じ模様にしよう。



けっしょほかん

通常の学級での指導・支援

- ・「鉛筆の音を聞いて書く」ことを意識させる。
- ・指の体操をしてから書かせる。

通級での変容

- * 指先の感覚を確かめながら、棒や道具を扱うようになった。
- * 鉛筆をゆっくり動かすことができるようになった。

通常の学級での変容

- * 慌てて書くことが減り、読みやすい文字を書くことができるようになった。
- * 細かいミスによる漢字の間違いが減った。
- * 丸くなりがちだった「折れ」をしっかりと角張って書くことができるようになった。



感覚

2-3-3 触って、モデルのポーズをつくろう

授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導		グループ指導
実態：小学生 ・自分の体や相手の体のイメージが掴みにくく、体幹がしっかりしていない。 ・相手との距離感が曖昧でトラブルを起こすことが多い。	長期目標 ・自分や相手のボディイメージを高める。 ・適切なコミュニケーション力を付ける。		
通級での指導・支援 自分や相手のボディイメージを高めるために ○ 準備体操をする。 ・簡単なストレッチや四肢を伸ばしたり、曲げたりする体操で体をほぐす。 『発達障がい児の脳と感覚を育てる かんたん運動』 より ○ 体の部位の確認 ・指導者がモデルとなって、首、胸、背中、肘、膝、左右手、左右足等々を示し、部位名称を確認しながら、各児童が自分の部位を触る。 ・同様にお互いの部位を触れ合う。 『気になる子どものできた！が増える 体の動き指導アラカルト』 より ○ アート&ネンド(芸術と粘土)をする。 ①モデル役と芸術家役と粘土役を決める(3人一組で行う)。 モデル役はアイマスク無し、芸術家役と粘土役はアイマスク有りで行う。 ②芸術家役がモデル役のポーズを手で触り、ポーズの形を把握していく。 ③次に、その把握した形に、粘土役の手足を動かす。 ④粘土役は、自分で動かず、芸術家役に委ねる。 ⑤この作業を繰り返しながら、芸術家役がモデル役のポーズを、粘土役に再現していく。 ⑥披露し合う。 ⑦各役割を交代して繰り返す。 『みんなのPA系ゲーム243』より	通常の学級での指導・支援 ・ペア学習やグループ学習をできるだけ、各授業に取り入れる。 ・体育の時間に「体ほぐしの運動」「身体接触のある運動」「力の加減が必要な運動」等を積極的に取り入れる。 ・週に数回、学級遊びとして外遊びをする。 ・協力してする作業や少人数で力を合わせて行う作業を意識的に取り入れる。 ・友だちと少しでもうまくできている時を見逃さずほめる。何が良かったのかを具体的に伝え、振り返ることを継続する。 (言語化し、強化する)		
通級での変容 * 自分の体の部位の名称と共に身体感覚としても学んだ様子だった。 * お互いの体に触れ合うことで、グループ内の関係性がよりよくなった。 (一緒に遊ぶ機会が増えた、会話が楽しく弾むようになった、相手のことを気にしたり、気遣ったりすることが多くなった等) * 姿勢について声をかけると、修正が早くなった。	通常の学級での変容 * 友だちとのトラブルは減りつつある。 * 通常の学級での友だちとのつながりの中で、適切なコミュニケーション力が育まれてきた。		



感覚

2-3-4

じっくり考えて行動できるようになったよ

授業形態	自校	他校	巡回
	個別指導	グループ指導	

実態:小学校 低学年

- ・気になる物があるとすぐに動いてしまい、注意されやすい。
- ・一目で判断してしまい、最後まで話を聞いていなかったり、思い込んだりする。

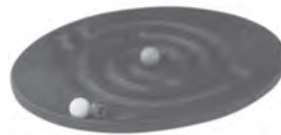
長期目標

- ・体をコントロールし、注意・集中できる時間を延ばす。
- ・複数の情報を捉えて、正しく判断する。
- ・ルールを守って遊ぶことができる。

通級での指導・支援

体をコントロールできるようになるために

- ・トランポリン(障害物をよけて跳ぶ)
- ・〔はだしバランスボード〕・バランスボール
- ・風船バトミントン



はだしバランスボード

複数の情報に注意をはらうために

- ・〔いっしょに玉はこび〕
- ・〔ウェイブバランス平均台〕
- ・棒引きゲーム〔パリナ〕



いっしょに玉はこび



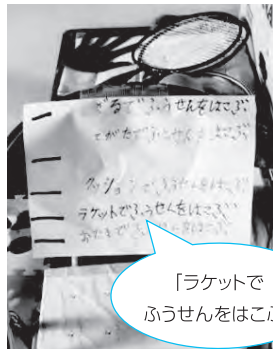
ウェイブバランス平均台

ルールを守って遊ぶことができるようになるために

- ・すごろくづくり
- ・カードゲーム〔キャット&チョコレート〕〔私の世界の見方〕



プレイルームにて、自由な発想で作り上げます。



「ラケットでふうせんをはこぶ」

すごろくづくり



キャット&チョコレート



私の世界の見方

通常の学級での指導・支援

- ・刺激を減らしたり、声かけをしやすい場所にしたりする等、座席位置に配慮する。
- ・「これから三つのポイントを話します」等と予告したり、活動の見通しをもたせたりして、集中できるよう促す。
- ・失敗したときには、思いを認めた上で事実確認をし、何を見逃したり、聞き逃したりしているか考えさせる。

通級での変容

*はじめはタイミングがずれてしまい、自分が思っているようにできなくてイライラしたりしていたが、繰り返し練習してレベルアップしていくうちに、慎重に行動できることが増えてきた。

通常の学級での変容

*衝動的な行動が減り、「ちょっと待って考えること」ができるようになった。友だちとの行き違いも少なくなってきた。